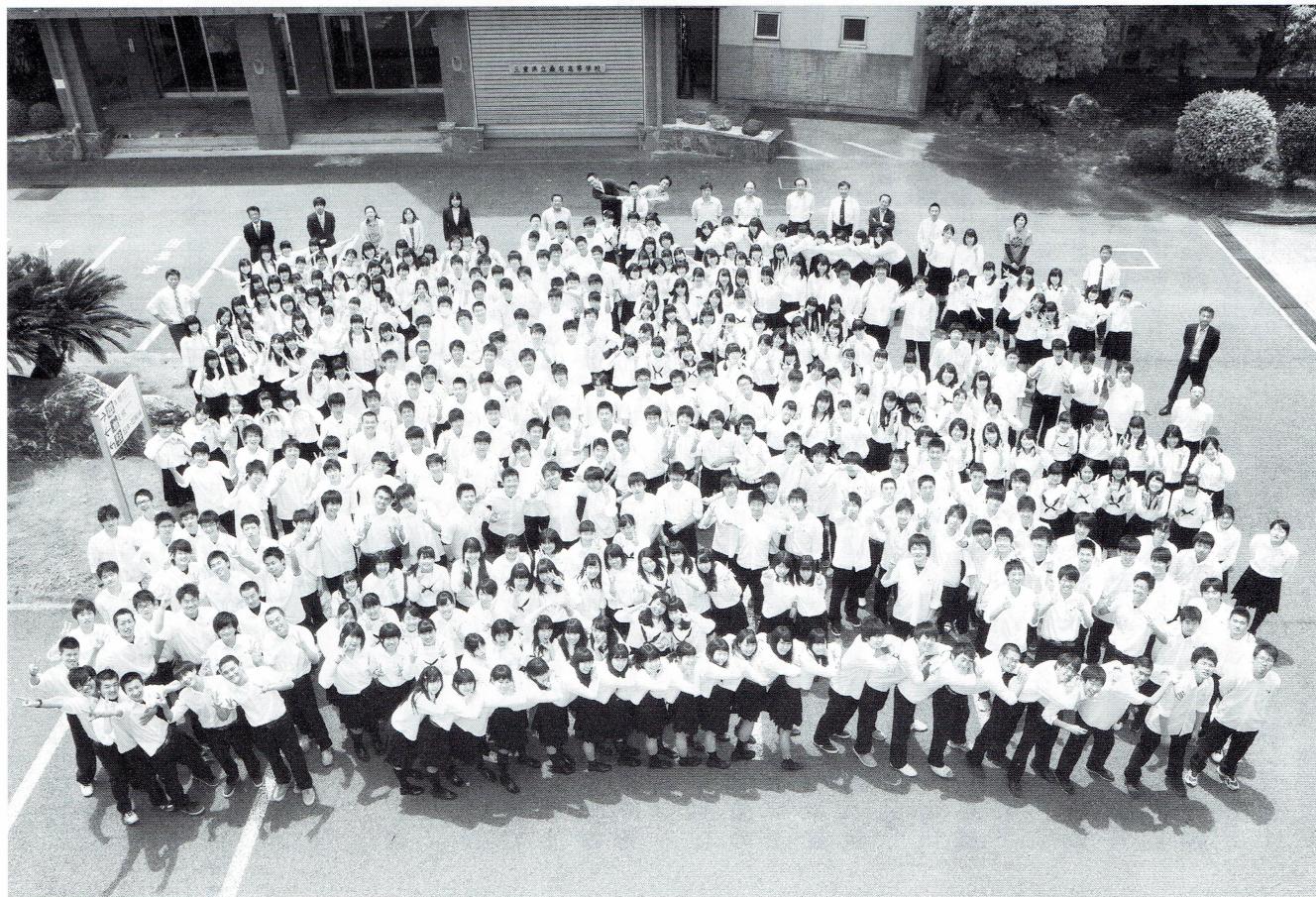




会報

桑高同窓会



【平成 28 年 3 月 卒業生】

目 次

同窓会会长・校長先生 挨拶	2 P
東京支部 活動報告	3 P
関西支部 活動報告	4 P
「こうのとり」ミッションの ディレクターとして 山中浩二氏	5 P
「桑高今昔物語 1」 西羽 晃会長	6 P
桑高行事写真	7 P
主要大学 合格状況	8 P

卒業生数・卒業生代表幹事一覧	
母校の主な活躍	9 P
同窓会関係	
26 年度事業報告・会計報告	
27 年度役員一覧と「桑高百年」PR	10 P
26 年度同窓会活動写真	
105 周年・うどん部屋	
100 周年関係の写真	11 P

資料室の充実を



桑高同窓会会長

西 羽 晃
(全日制七回生)

桑高創立百周年記念事業のうち、一部が残っていたが、百五周年にあたる昨年にすべての事業を終えて、残余金は一般会計に繰り入れた。事業の一つに資料室の整備があった。

百周年記念誌『桑高百年』を編さんするために校内にあった資料とともに、卒業生や各種機関の資料を集め、一部屋にまとめて資料室として保管した。同窓会は資料室の整備として、部屋の間仕切り、貴重品を入れるための耐火書庫、防虫加工した書類箱などを提供した。

収集した資料は1300点余りである。元桑高教諭で『桑高百年』の編さん当たらされた渡辺尚登先生（全日制22回生）が退職後に作つて頂いた所蔵資料目録もこのほど完成した。収集した資料を今後は如何に活用するかが重要である。卒業生や外部の人が閲覧しようとしても、今ところは手続きもはつきりしていない。今後は学校と同窓会が協議して管理規定・体制を決める必要がある。

私が『桑高百年』の編さんに使用した資料を集めるために各地へ出かけたり、関係者から送つて頂いたり、

思い出深い資料も多い。東京やつくば市の国立公文書館へ出かけたりした。また桑名市立高等女学校の資料が桑名市議会事務局の倉庫に埃にまみれて眠つていたのを探し出したこともあった。『桑高百年』の編さん時に見付けられなかつた戦後の混乱時の県立高女の記録は桑高の片隅から発見された。戦後の占領軍の指令や旧制中等学校から新制高校への移行時の経緯の記録綴りは歴史を伝える貴重な資料である。

桑高全日制の『桑高新聞』は創刊号の昭和24年から昭和60年の100号まで揃つてある。生徒会誌『しらうお』も創刊号の昭和40年から最近まで揃つてある。卒業アルバムもほぼ揃つていて、昭和30、31、32、33、34年度が欠けている。郷土研究部の『久波奈』など各クラブの部誌も幾つかあるが、欠けているものも多い。定時制の卒業アルバムは昭和28年度から58年度まであるが、かなりの年度が欠けている。生徒会誌『尾野山』は欠号が多い。衛生看護科では生徒会誌『潮風』は創刊号の昭和62年から平成9年まであるが、平成2

年の第四号が欠けている。
県立桑名高女の同窓会誌『松韻』や桑名中学の『校友会誌』も一部残つてゐるが、欠号が多い。これらに限

らず、県立高女・市立高女・桑名中学、桑高全日制・定時制・衛生看護科の記録などあれば、資料室へ寄贈してほしい。

同窓会のご理解とご協力に支えられて



桑名高等学校長

竹森淳一

同窓会員の皆様には、ご健闘にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も、本当に様々な面でお世話になりました。昨年度は体育館の綱帳を新調していただいたのですが、今年度は、気になつていて本校の様々な歴史的資料を保管する「資料室」の改修をご協力をいただき、資料の散逸を防ぐ部屋の確保、劣化を防ぐための耐火保管庫や保存紙を購入していくことができました。また、本校の各種会議やP.T.A活動、外からのお客様をお迎えできる部屋としての「会議室」の改修もございました。

早いもので、桑名高校は今年度で創立105年目を迎えました。10月にはホテル花水木で創立105周年記念総会が開かれ、出席させていただきました。桑高38回生で宇宙航空研究開発機構（JAXA）に勤務されている山中浩二さんの記念講演を聴かせていただき、その後も少しお話しさせていただく機会を得ました。ロケット開発において解決しなければならない課題はたくさんあるけれど、その解決の糸口となるのが、

意外にも人ととの関係にあるとい
うお話を聞き、これからを生きる
生徒たちが身につけなければならな
い大切な力である「課題解決能力」
というものに、大きなヒントを得た
気がしました。

今、教育現場においては、大学改革、高校改革、それをつなぐ大学入試制度の改革が取りざたされています。その中に、課題解決能力やコ

ミユニケーション能力をどう高めでいくか、思考力、判断力、表現力をどう身につけていくかといったことが、課題となっています。近年桑高生は、クラブ活動の枠に留まらず、様々な団体が主催する大会に自発的に参加し、活躍しています。今年度は科学オリンピックやビブリオバトルの三重県大会での優勝、地理オリンピックへの挑戦でいずれも全国大会に駒を進めています。最先端技術を持つ企業を訪問し、工場見学だけではなく、研究者に直接話を聞かせていただいたり、看護科では、教材に出てきた団体を実際に訪問し、より学びを深める取り組み等を行っています。「桑名から強くはばたく人づくり」の実現に向け、生徒の主体的な学びを深める取り組みを一層進めていきたいと考えています。

最後になりましたが、桑名高校同窓会のご発展と皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

27年度の3大イベントの紹介

文部綿引和彥

(桑高二十二回生)



桑名高校同窓会
の皆様方ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、

卒業生の皆さん心からお祝い申し上げます。

さて 東京支部活動の三大イベントを通して紹介したいと思います。

(2) 参加者は 55名 (昭和2年3月卒から平成7年3月卒まで)

（3）内容
^トーケタイム▽

の見直し作業をしており、その結果昭和50年代卒以降を中心参加者が少しずつ増えております。

①渡邊 賢一さん
一般社団法人元気ジャパン
代表理事

(3) 内容

（桑高）昭和30年3月卒
ダイヤル・サービス株式会社
代表取締役社長

イ. ウ. 伊勢大橋架け替え（校歌）ふるさと納税制度にご協力を

桑名のハマグリ等の食材を使つた料理を楽しみながら、親睦・交流を図つた。

③特別講演「桑高と同窓会のあゆみ、百周年の苦労話」なる（有澤竜氏前桑名高校教諭）

（桑高・昭和5年3月卒）
支那後援）で千葉コツテマリーンズを応援する会・・・参加者30名

秋の集いに、参加者5名
11月14日に、東京支部の「秋の集
い」が東京都千代田区の震が関ゴレ

い」が東京で作田園の雷を聞き、35階で行われました。

加藤 實比
前奏曲高橋翠
⑤自己紹介 桑高22回
⑥校歌齊唱
④歓談

(1) 6月14日に千葉ロッテマリーンズ試合観戦同窓会が開催されました。

今回は、何かとお忙しいなか、来賓として伊藤徳宇桑名市長（桑高平

成7年3月卒)も駆けつけてくださいり、ジュニアサミットのメイン会場が桑名市に決定するなどのビッグニュースをお持ちいただきました。

「秋の集い」の主な内容は、次の

伊藤徳宇桑名市長参加のもと、首都圏にお住いの桑名に縁のある方が集まり（多くは桑高出身）桑名の食材を使つた料理を楽しみ、桑名の魅力を改めて知つてもらうとともに55



山室晋也氏を応援する会 2015.6.14

(3)

で選手を見ることができ、最高でした。肝心の試合の方ですが、我々応援団の声援が届いたのか、我々3対2でロッテの劇的なサヨナラ勝ち。山室球団社長をはじめ皆さん笑顔、笑顔でゲームセット。これからも、機会をつくってマリーンズスタジアムへ足を運び山室氏を応援しましょう。

関東地域に進学、就職される卒業生の皆さん東京支部では皆様方のイベント等への提案・参加を心より歓迎いたします。

最後に、桑名高校同窓会会員皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

(2) この企画は、山室氏と同期の方を中心となり、実現したものです。東京支部にも声をかけていただき、30名ほど集まり即席応援団を結成しました。

当日は、全員がロッテファーンとなり、ロッテの応援はもちろん、桑高時代の思い出話や近況報告など和気あいあいの野球観戦となりました。また、VIP待遇を受け、試合開始前に特別にグランドに立つことができ、すぐ近く

桑名高校同窓会
(桑高三回生)

関西支部

支 部 長
鈴 木 英 雄

この企画は、山室氏と同期の方を中心となり、実現したものです。東京支部にも声をかけていただき、30名ほど集まり即席応援団を結成しました。

昭和十八年に学校競技主催として町内対抗相撲大会があり各町内から三名（六五四年生各一名）を選出し三戦二勝以上で戦えば優勝でした。四年生不在と知恵を絞り五年生のみ三名で出場し優勝した体験は忘れられません。又当時同学年では誰にも負けない自信があり特技は左利きの右構えで勝負の速さはラジオからのお蔭でした。転校で桑中一年の時日本武道の選択を迫られた時禪一つの相撲と即決した事も忘れられません。嘗て、県女市女桑中部会が平成二十三年九月二十日に退会と同時に解散したことを探り唖然としましたが、今度は我身と、五十年続いた三桑会（桑高同年三回生）が昨年十一月九日で最終会となりました。毎会笑顔とみかんの恩恵で一層逢別の信念が深まり当分冷めない事でしょう。

また今年でご卒業される皆様方に兔角明るい話題が少ない折、日本出身力士琴奨菊の初優勝は、国技総合）に開催致します。関西在住の皆

様のご参加を心から願っています。最後に桑高同窓会の益々のご発展を願い会員皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

関西への思い

関西支部事務局長

杉 本 芳 昭

（桑高十回生）



桑名高校同窓会

会員の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。又今春ご卒業の皆さんご卒業おめでとうございます。

さてここ関西地区ではここ数年いろんな出来事がありました。NHK 大河ドラマでは、姫路を舞台とした「黒田官兵衛」、次に山口県萩市を舞台とした「花燃ゆ」吉田松陰物語、次に大阪城での真田幸村の生涯を描いた「真田丸」と続いています。又

朝の連続テレビ小説では、「あさが来た」大阪の恩人であり大商初代会頭の五大友厚がヒロインの師として登場しています。そして秋から「べっぴんさん」のヒロインのモデルとして坂野惇子・神戸出身で幼児服トップブランドの「ファミリア」の創業者の物語です。この様に関西を中心としたドラマが続いている経済的にも反響は大きく各地域では多くの観光客でぎわっています。そ

の反面悲しい出来事もありました。二十一年前の阪神淡路大震災、そして五年前のJR西尼崎列車事故、多くの尊い人命が奪われました。その大きな傷跡は今でも多くの人々の中に残っています。忘れてはならない出来事でした。私達千六百余名の桑高OB関西在住の皆様はこの様な関西の環境下で生活されています。桑高卒業後六十年、関西在住しております私にとってのここ関西は第二の故郷以上の愛着があります。その様な環境下で同窓会の存在が心のより所として大切な位置づけ思います。人と人との横のつながりの大切さ今一度同窓会の存在価値を見直す時だと思います。



関西三重県人の集い 2015.10.17

二年に一度の桑高同窓会関西支部総会（第九回）が来る十一月五日土曜日、大阪にて実施することになりました。久しぶりに母校を慕い校歌と一緒に斉唱しませんか、同級会も

合同でいませんか、ワントーベルを用意します。多くの同窓会会員の参加を事務局一同お待ちしております。

追記として今春卒業生の皆様方に先輩の一人として一言申し上げます。今年より十八歳選挙権が六月十九日に施行されます。一人の社会人として大切な権利であるこの一票を大切にして下さい。皆様方のこの一票が大きくなり動かします。当然その一票に於ける重みは大きなものがあります。若い皆様方のこの一票に夢を託したいと思います。最後に世界のトップが集う「伊勢志摩サミット」が無事成功されます事、そして桑高同窓会会員の皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

（関西支部連絡先）

杉本芳昭（桑高十回生）

○九〇一四八五一一二一一

木村陽一（桑高二十三回生）
○九〇一七一七八四八二

「こうのとり」 ミッショントレーニングのデイレクターとして

JAXA 宇宙航空研究開発機構

山 中 浩 二

（桑高三十八回生）

2014年から2015年にかけて、米国、ロシアが3回立て続けに国際宇宙ステーションISSへの物

資補給に失敗したのちに、2015年8月24日に日本のISS補給船である「こうのとり（HTV）」がISSに物資を届けることに成功しました（図1）。ここで日本のHTVも失敗していたらISSの存続が危ぶまれるほどの状況でもあったため、世界各国から多くの称賛と感謝を頂いた。私が宇宙航空研究開発機構JAXA（旧NASDA）に入社した1992年当時、日本はHTVのような大型の宇宙船など作ったことが無く、またそれを打ち上げる能力のあるロケットもなかった。それがこの20年の間に世界から称賛され、尊敬され、頼りにされるまでになったことは、大変感慨深いものがある。

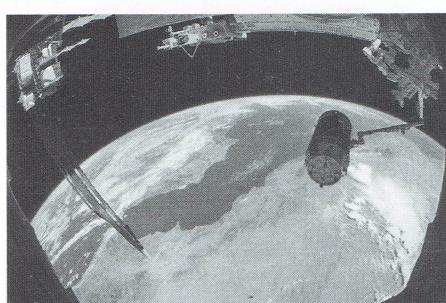


図1 2015年8月 HTV5号機ミッション成功時の写真



図2 2009年 HTV初号機成功を喜ぶ筆者(中央)

HTVの開発は本当に苦難の連続であった。私も参加したHTV開発の第一回国際調整会議は1994年に米国ヒューストンで行われたが、当時まだ宇宙船と呼べる機体を作ったことのなかつた日本と、マーキュリー、ジェミニ、アポロ、スカイラブ、スペースシャトルとやつてきたNASAの差は、大人と子供以上であつた。また、50年以上の歴史を持つNASAの有人安全審査は我々の想像をはるかに超えて厳密なものであつた。NASAからの指摘事項は数千件に及び、それらを含む技術課題を一つ一つ解決していく年月であつた。途中スペースシャトルの事故などでISS計画のスケジュールが大きく変更されたこともあり、最終的にHTV初号機のフライトは2009年9月になつた。1994年第一回会議から考えると実に15年である。年月の長さを感じる。NASA等に比べて組織の小さいJAXAでは研究開発だけでなく、そのフライト運用も自分たちで行う。筆者もHTV初号機のリードフライトディレクター（現場の総責任者）としてその運用にあたつた。日本が初めて作った宇宙船の初飛行であり、

随分と苦労もしたが、NASA等と100回以上も繰り返した国際合同訓練の成果もあって成功裏に終えることが出来た（図2）。

これまでHTVは5機連続で成功しており、ISS計画には無くてはならない宇宙機になっている。また、我々の飛行運用管制はNASAからも大変に信頼されており、最近ではNASA要員の訓練を頼まれたり、米国宇宙船の共同運航を依頼されたりするよう今までなった。15年は長かったとはいって、米国に比べ予算も人員も一桁以上少ない組織としてはよくここまで来たものだと感じている。

桑高今昔物語1

桑高同窓会会长

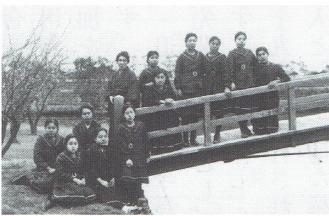
西 羽 晃

一、県立桑名高等女学校（県女）

桑高の前身は明治43（1910）年に開校した桑名郡立高等女学校が始まります。場所は内堀にあつた桑名第二高等小学校の旧校舎（現在の立教小学校の東）を桑名船馬町の伊藤紀兵衛が買い取つて寄贈されました。三重県下の高等女学校として津四日市に次いで3番目です。1学年58人と2学年53人が同時に入学しました。

修業年限は四年で、最初の卒業式は大正2（一九一三）年でした。卒業記念写真を見ますと、前列は教職

員ですが、二列目からは生徒で、服装は和装で袴の裾に白線一本入りです。この白線一本は県女の誇りある伝統として受けられました。（①）



郡制が廃止となつたので、大正11年4月から三重県立桑名高等女学校と改称されました。同時に二階建ての新校舎が竣工しました。その後にセーラー服にスカート（裾に白線一本入り）の洋装となり、黒い靴下に黒の革靴でした。上着の襟には白線が二本入りです。ベルトでウエストを締めています。（②）

昭和4（一九一九）年11月17日に創立20周年祝賀式並びに御大典記念図書館落成式が行われました。

御大典とは昭和天皇の即位の儀式です。

その図書館は



①



③

桑名船馬町の伊藤紀兵衛の寄贈です。昭和6年には、天皇・皇后御真影を納める奉安殿が出来ますが、これも伊藤紀兵衛から寄贈の申し出がありました。しかし広く募金を集めることに意義があるので、教職員、生徒、保護者から寄付金が集められました。（③）

日本が戦争になると共に、学校も軍事色が強くなり、昭和19年には学校へ行かずに工場へ通う通年勤員となりました。そして昭和20年7月17日にはアメリカ軍の空襲を受けて校舎が全焼しました。残つたのは石造の門柱とコンクリート造りの奉安殿のみでした。（④）

戦災を受けた校舎の復興のために資金集めの演芸会を催したりしました。その時の写真をみますと、セーラー服の制服ですが、色も揃わず、スカートの白線はなくて腕にマーク

を付けています。（⑤）

昭和23年に益生に新校舎が建てられましたが、学制改革のため高等女学校は廃止となり、新設の桑名高等女学校に統合されました。新築の校舎は桑名市立明正中学校の校舎として使われました。



⑤



④

平成27年 桑高の主な行事



主要大学 合格状況(全日制)

大学名	入試年度					大学名	入試年度				
	2011	2012	2013	2014	2015		2011	2012	2013	2014	2015
北海道	1	0	1	2	0	国際教養	0	1	0	0	0
東北	0	0	0	2	0	首都大東京	1	0	1	2	0
筑波	0	1	0	1	1	横浜市立	1	0	0	0	1
千葉	1	0	0	2	1	岐阜薬科	1	1	1	0	0
お茶の水女子	0	0	0	0	0	愛知県立	5	4	10	6	4
東京	1	1	0	0	0	名古屋市立	12	9	6	6	4
東京外国語	0	0	0	1	0	三重県立看護	2	3	1	1	2
東京学芸	1	0	1	1	1	大阪府立	1	2	0	1	3
東京芸術	1	0	0	0	0	その他公立大	6	11	5	10	12
東京工業	1	1	0	0	1	公立大合計	29	31	24	26	26
一橋	1	1	0	0	0	青山学院	5	1	0	2	3
横浜国立	3	1	0	3	0	慶應義塾	9	4	3	3	1
富山	0	1	0	0	1	上智	0	1	0	0	0
金沢	5	7	3	4	9	中央	6	4	2	3	7
福井	4	3	6	0	1	東京理科	11	12	4	5	15
山梨	2	1	0	0	0	法政	11	6	2	7	10
信州	7	3	5	4	3	明治	10	4	6	13	8
岐阜	2	4	3	1	5	立教	1	0	2	1	2
静岡	8	6	7	6	4	早稲田	10	7	6	6	2
愛知教育	4	5	3	6	4	愛知知	36	46	44	31	63
名古屋	19	21	11	14	16	愛知工業	9	35	14	18	21
名古屋工業	13	17	13	15	12	愛知淑徳	63	62	57	34	34
三重	66	31	44	62	42	金城学院	20	25	26	24	19
滋賀	1	2	1	2	2	柏山女学園	27	23	24	9	18
京都	6	1	4	1	3	中京	128	154	140	96	101
大阪	2	2	1	1	0	名城	96	110	106	96	95
神戸	2	2	0	0	1	南山	151	120	97	103	78
奈良女子	0	2	0	0	3	皇學館	13	7	8	20	15
岡山	0	0	2	1	0	同志社	22	36	24	26	19
広島	1	1	3	0	1	立命館	98	80	57	86	76
九州	0	1	0	0	0	関西	14	16	21	15	12
その他国立大	7	9	10	10	9	関西学院	9	8	5	9	5
国立大合計	159	124	118	139	120	その他私立大	235	241	247	294	250
						私立大合計	998	1013	895	901	854
						三重短	4	3	9	8	6
						国公立短合計	5	3	9	11	7
						私立短合計	1	8	5	8	2
						就職	0	0	1	2	1

【平成28年3月卒業生】

		男	女	計(人)
全 日 制	普通科	136	141	277
	理数科	25	14	39
	衛生看護科(本科)	0	37	37
	衛生看護専攻科	0	44	44
定 時 制	普通科(三修制含む)	9	4	13
合 計		170	240	410

平成28年度3月卒業生 同窓会クラス代表幹事

【全 日 制】

学年代表幹事 普通科1組 伊藤 陸人
 普通科代表幹事 普通科3組 西井 海暉
 理数科代表幹事 理数科8組 深川 健人

1組 普通科	伊藤 陸人	堀 佳里南
2組 普通科	石川 里奈	永田 桃子
3組 普通科	西井 海暉	松野 圭佑
4組 普通科	尾家 健太	富永 昂
5組 普通科	塩澤 枫子	橋本 知沙
6組 普通科	松葉 信行	片山 純恵
7組 普通科	富永 怜	服部 龍己
8組 理数科	深川 健人	松尾 七虹
9組 衛生看護科	石垣 彩音	江藤 琴音

【衛生看護科】

学年代表幹事 ◎石垣 彩音 江藤 琴音

【衛生看護専攻科】

学年代表幹事 ◎田中 彩乃 沼田みづき

【定 時 制】

学年代表幹事 ◎杉本 健司 二井美沙子



平成27年度 クラス代表幹事

母校の活躍

クラブ・学科	大会名	種目	結果	氏名
陸上競技部	第3回全国高等学校 陸上競技選抜大会 8/29.30	300m	8位	中村 巴南
競技かるた部	第39回全国高等学校 総合文化祭 7/29	小倉百人一首かるた部門	8位	藤田 一真・野呂菜々子・ 伊藤 まり・中谷あかり・ 村上 琴音
放送部	第62回NHK杯全国高校放送 コンテスト 7/20~23	朗読	入選	鈴木 美帆
個人	第61回青少年読書感想文全国 コンクール 12/4	読書感想文	毎日新聞社賞	加藤 初音
個人	リコーダー全日本コンテスト 3/26		金賞	安田 理乃
2年理数科	三重県科学オリンピック 11/3		優勝	2年理数科8名 3月、第5回科学の甲子園全国大会に出場

桑名高校同窓会 平成26年度事業及び会計報告

平成26年度 事業報告

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

平成26年8月23日(土) 桑名高校同窓会役員会	朝日鋳工所会議室
平成26年9月13日(土) 桑高祭「うどん部屋」出店	桑名高校
平成26年9月20日(土) 桑名高校同窓会運営委員会	桑名市民会館会議室
平成26年11月2日(日) 桑名高校同窓会幹事総会	桑名シティホテル
平成26年11月9日(日) 桑名高校関西支部総会	ホテルグランヴィア大阪
平成27年1月17日(土) 桑名高校同窓会役員会	朝日鋳工所会議室
平成27年2月27日(金) 桑名高校同窓会入会式	桑名高校体育館
平成27年2月27日(金) 新作綴帳贈呈式	桑名高校体育館
平成27年3月1日(日) 桑名高校卒業式	
平成27年3月1日(日) 会報(桑高同窓会)No.33号発行	
平成27年3月28日(土) 桑名高校同窓会役員会	朝日鋳工所会議室
平成27年5月17日(日) 桑名高校同窓会第2回運営委員会 及び学校長並びに管理職との懇談会	桑名シティホテル
平成27年6月16日(火) 桑名高校臨時役員会	朝日鋳工所会議室

平成26年度 会計報告

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

科 目	予 算	決 算	増 減
収 入 の 部	入 会 金	1,850,000	1,820,000
	会 費	650,000	706,000
	受 取 利 息	3,000	2,818
	事 業 収 入	105,000	105,000
	雑 収 入	30,000	25,000
	収 入 合 計	2,638,000	2,658,818
	前期繰越金	14,246,406	14,246,406
支 出 の 部	収 入 合 計	16,884,406	20,818
	総 会 費	700,000	792,733
	会 議 費	400,000	303,319
	印 刷 費	500,000	468,585
	通 信 費	300,000	372,036
	事 業 費	150,000	176,815
	慶弔 費	50,000	50,000
	支部助成金	200,000	200,000
	卒業記念品	300,000	- 9,000
	交 通 費	40,000	28,160
	名簿管理費	450,000	- 298,800
	雑 費	100,000	126,799
	賃 借 費		
	支 出 合 計	3,190,000	- 229,353
資 産 の 部	予 備 費	13,694,406	
	支 出 合 計	16,884,406	2,960,647
	次期繰越金		13,944,577

財 产 目 錄

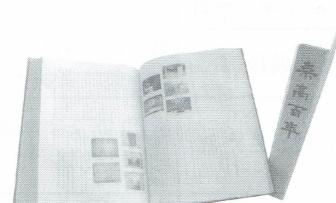
(平成27年7月31日現在)

現 金	0	0
定 期 預 金	桑名信用金庫	9,023,467
普 通 預 金	桑名信用金庫	2,762,634
仮 払 金	ゆうちょ銀行	2,460,305
立 替 金	うどん部屋運営費	0
資 産 合 計		13,992,678
負 債 の 部	未 払 金	0
	負 債 合 計	0
	差引純財産	13,944,577

平成27年度 桑名高校同窓会役員

会 長	西羽 晃(桑全 7回生)
副 会 長	森田好博(桑全 9回生)
	加藤武夫(桑定 11回生)
	岡野良子(桑看 7回生)
理 事	上田広吉(桑全 11回生)
	渡辺 醇(桑全 13回生)
	森 一藏(桑全 16回生)
	石垣英一(桑全 18回生)
	山下卓司(桑全 18回生)
	竹山延幸(桑全 20回生)
	福田正道(桑全 21回生)
	会計監事
	加藤 寛(桑全 22回生)
	西村治生(桑全 23回生)

長瀬 浩(桑全 24回生)
水谷康朗(桑全 30回生)
渡辺浩子(桑全 31回生)
水貝千寿子(桑全 31回生)
長谷川久美(桑全 32回生)
金森光則(桑全 36回生)
大橋 裕(桑定 11回生)
伊藤英明(桑定 12回生)
上田 泉(桑看 10回生)
廣田千秋(桑看 12回生)
伊藤 巧(桑全 24回生)
萱野治道(桑全 26回生)
小杉 悟(桑全 31回生)



『桑高百年』

「三重県立桑名高等学校創立百年記念誌」

A4版約700頁（うち口絵32頁）ご希望の方は下記へ、お振込下さい。

「ゆうちょ銀行」

○振替口座番号：00890・4・87537

○加入者名：桑名高校同窓会

○金額：8000円（送料・消費税共）

桑高同窓会の活動

うどん部屋2015

2015.9.12



全員集合! (22名)



いも、ちく、トッピング係です



今年は400食完売です!

100周年記念事業

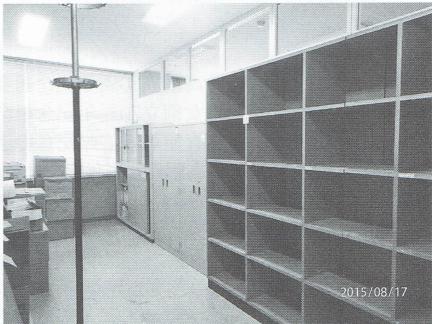
2015.9.1



創立百周年の碑



旧看護分校より移築した「慈恵」碑



改装した同窓会資料室

105周年記念総会

2015.10.18

花水木入口の
看板

OB.OGによる校歌伴奏



講師の山中 浩二氏

総会会場
満員の

和やかな懇親会場



記念講演～これからの宇宙開発～

懇親会にて伊藤市長

同 窓 会 の あ ゆ み

明治42年1月29日 桑名郡立高等女学校設立の建議
 43年4月5日 桑名郡立高等女学校第1回入学式
 大正10年4月 桑名町立裁縫女学校開校
 11年4月1日 郡立高女は三重県立桑名高等女学校となる
 12年4月5日 三重県桑名中学校(桑名町立)第1回入学式
 13年4月29日 桑名町立裁縫女学校を廃止し、桑名実業女学校開校
 15年4月1日 三重県桑名中学校は三重県立桑名中学校となる
 昭和10年7月1日 桑名実業女学校は桑名町立青年学校女子部となる
 12年4月1日 桑名町立青年学校女子部は桑名市立となる
 13年4月1日 桑名市立青年学校女子部は桑名市立実科高等女学校となる
 18年4月1日 市立実科高等女学校は桑名市立高等女学校となる
 23年5月12日 桑中・県女・市女が統合。三重県桑名高等学校として発足
 8月1日 定時制課程併置
 28年1月11日 桑中・県女・市女・桑高各同窓会が統合
 三重県桑名高等学校同窓会を結成
 30年4月1日 三重県立桑名高等学校と改名する
 43年11月24日 桑高創立20周年記念総会開催
 49年4月1日 衛生看護分校設置
 52年4月1日 衛生看護分校に衛生看護専攻科設置
 53年10月10日 桑高創立30周年記念総会(於)市民会館
 54年11月3日 県女創立70周年記念総会
 55年8月10日 体育館綬帳寄贈記念総会
 58年5月8日 桑高創立35周年記念総会(於)諸戸邸・市民会館
 10月 東洋ペアリング桑名桑洋会結成
 59年11月11日 東京支部結成
 60年3月16日 市女創立60周年記念総会(於)桑名シティホテル
 4月25日 県女創立75周年記念総会(於)桑名シティホテル
 63年3月17日 芸術館竣工にともない陶芸電気窯寄贈
 9月5日 「会員名簿」を発行
 10月30日 創立80周年・桑高創立40周年・会員名簿発行
 記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
 東京支部結成(アラスカ)
 平成元年11月23日 桑高同窓会関西支部結成
 2年4月13日 県女創立80周年記念総会
 3年10月27日 定時制40回記念総会
 4年8月9日 桑中創立70周年記念総会
 11月1日 第2回関西支部総会
 11月8日 第3回東京支部総会
 5年5月27日 県女創立85周年記念総会
 10月24日 85周年記念総会「県女創立の地」記念碑建立
 (於)長島温泉ホテル「花水木」
 分校築庭寄贈
 体育館舞台幕一式、視聴覚室暗幕一式贈呈
 会員名簿発行

第3回関西支部総会(なにわ会館)
 増地克之氏柔道優勝記念碑寄贈
 定時制45回記念総会
 6月22日 第4回東京支部総会(渋谷東急ゴールデンホール)
 23日 県女創立90周年記念総会
 10年5月13日 90周年記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
 11月1日 関西支部創立10周年第4回総会(於)舞子ビラ
 11年11月14日 市女創立80周年記念同窓会
 12年4月10日 第5回東京支部総会(於)渋谷東急ホテル
 11月25日 定時制創立50周年記念同窓会
 13年6月10日 衛生看護分校が5年一貫教育を開始
 14年4月1日 県女創立95周年記念総会
 15年5月15日 創立95周年記念総会(於)桑名平安閣
 10月25日 衛生看護創立30周年講演
 10月31日 関西支部第5回総会
 11月8日 第6回東京支部総会
 16年11月28日 定時制幹事総会(於)桑名シティホテル
 17年10月15日 定時制創立55周年総会
 18年10月22日 桑名高校創立百周年記念事業実行委員会設置
 19年9月25日 県女創立百周年記念同窓会(於)桑名シティホテル
 20年5月15日 関西支部20周年記念第6回総会
 10月19日 東京支部25周年記念第7回総会
 11月16日 創立百周年記念式典(於)桑名市民会館
 21年10月10日 創立百周年記念総会
 10月11日 (於)長島温泉ホテル「花水木」
 創立百周年卒業生作品展
 22年7月25日 創立百周年卒業生作品展
 8月4日 桑高百年展
 9月 創立百周年記念誌「桑高百年」刊行
 23年4月1日 衛生看護分校を本校全日制衛生看護科として設置
 7月3日 桑名高校定時制創立60周年記念総会
 桑名高校定時制創立60周年記念同窓会文化祭
 9月20日 桑名中学校同窓会幹事総会(解散総会)
 24年10月28日 関西支部総会
 11月18日 東京支部総会
 25年9月7日 桑高祭にて「うどん部屋」出店
 26年2月27日 桑高校旗贈呈(百周年記念事業)
 26年9月13日 桑高祭にて「うどん部屋」出店
 11月9日 関西支部総会
 27年2月27日 体育館新綬帳贈呈(百周年記念事業)
 9月1日 (百周年記念事業として)
 同窓会資料室改修・会議室改修
 創立百周年記念之碑建立・看護分校石碑移築
 桑名市立高等女学校創立の地石碑建立
 桑高祭にて「うどん部屋」出店
 9月12日 創立105周年記念同窓会総会・懇親会
 10月18日 (於)長島温泉ホテル「花水木」

桑高同窓会ウェブサイトのご案内

同窓会情報・住所変更等のご連絡は同窓会公式ホームページまでお願いします。

三重県立
桑名高等学校同窓会オフィシャルサイト
<http://kuwakoob.com>

facebook に三重県立桑名高等学校同窓会のオフィシャルページを開設しました。
 情報交換の場に、お役立てください。

桑名高校同窓会
<https://www.facebook.com/kuwakoob>

